

平成21年度 市政懇談会

ハッピートーク 市長と語る子育て交流会

市では、7月から9月にかけて、子育て交流広場「ほっかほか」や子育て支援センターを利用して子育て真っ最中の方を対象に、ハッピートーク市長と語る子育て交流会を4回実施しました。本紙では、その開催内容の一部を紹介いたします。詳しくは、笠間市ホームページをご覧ください。

マル福制度について

Q 他の市町村では、小学生あるいは中学生まで、マル福制度があると聞いている。

子どもは、医療費がかかるので、笠間市でも、小学3年生ぐらいまでマル福制度を設けてほしい。

A マル福制度は、市町村によって制度が違います。

笠間市は、就学前までの対応です。対象年齢を上げてほしいという意見は、たくさんの方からいただいています。

昨年度、平成21年度の実施に向けて検討しましたが、多額の費用がかかり実施できないということで先送りになっています。何歳までにするかは別にして、少子化対策の中で対象年齢を引き上げることは、必要であると認識しています。今後、引き続き検討させていただきます。



子育て交流広場「ほっかほか」での開催風景

子育て支援センター等の利用について

Q 祖父母に子どもを預けて働きたいという人が増えている。子育て交流広場「ほっかほか」や子育て支援センターがあっても、祖父母世代は、若いお母さんたちの集まる場には行きにくい。せっかくいい施設や機会があるのに、働くお母さんたちの子どもは利用しにくい状況になっている。

市報などで、「孫と一緒においちゃん、おばあちゃんも、ぜひ、ご利用ください」というような呼びかけをしてほしい。

A そのとおりだと思います。利用していただくことが重要なので、PRや広報をしていきたいと思います。

合わせて利用しやすい環境づくりを進めていきたいと思います。

子育てサポーターについて

Q 仕事で急に保育園に迎えに行けなくなってしまう場合に、在宅で子どもを預かるという方に迎えに来てもらって、そのまま自宅で見てもらえるような制度にしてほしい。

A 現在、笠間市にも「子育てサポーター」という制度があります。社会福祉協議会が行なっており、会員制です。利用会員

と協力会員で子育てを助け合うもので、利用料は、1時間700円です。

この制度については、市のPRが不足していると思いますので、今後、積極的にPR活動を行い、利用会員を増やしていきたいと思っています。

緊急時の子どもの預け先について

Q 他のまちで暮らしていたとき、母親のネットワークやサークルができていて活気にあふれていた。

緊急時の子供の一時預かりについては、行政でできることにも限界があると思うので、母親同士のネットワークをもっとつくっていいのではないかと。

A 緊急時の子どもの預け先については、今後の課題とさせていただきます。今後は、組織作りやNPOへの支援など行政の役割を考えていきたいと思います。

問合せ▼秘書課（内線225）

